

## 第64回「電波の日」東北総合通信局長表彰

被表彰者	主な功績
おおの おきら 大野 晃 元社団法人全国船舶無線工事協会東北支部支部長	多年にわたり船舶無線工事業を通じ漁業無線通信の普及に努めるとともに社団法人全国船舶無線工事協会東北支部の要職を歴任し会員の指導・育成に努め電波法令違反の未然防止及び登録検査等事業者制度の適正な実施に多大な貢献をされました。
ちん きょう 陳 強 東北大学大学院工学研究科教授	「広域通信エリアを確保するための沿岸漁業用海岸局に必要な技術的条件に関する調査検討会」の座長として被災した宮城県内漁業用海岸局の復興モデルを策定するとともに海岸局の統合に必要な技術的条件やネットワーク化について取りまとめるなど電波利用の促進と周波数の有効活用の推進に多大な貢献をされました。
いわき市市民協働部市民生活課 (参事兼課長 坂本 博道)	地上デジタル放送における新たな難視地区の解消と市民のテレビ受信環境を確保するため関係機関と協力して積極的に対策に取り組むなど地上デジタル放送の普及促進に多大な貢献をされました。
宮城県唐桑無線漁業協同組合 (代表理事組合長 三浦 理市)	多年にわたり漁業無線を通じ宮城県近海及び気仙沼沿岸海域で操業する漁船の航行の安全に努めるとともに東日本大震災により宮城県内の他の漁業用海岸局が甚大な被害を受けた際に漁船との通信を維持し漁業者の安全確保に多大な貢献をされました。

## 平成26年度「情報通信月間」東北総合通信局長表彰

被表彰者	主な功績
あだち ふみゆき 安達 文幸 東北大学大学院工学研究科教授	緊急重要通信や安否確認などに活用が期待される「災害に強い重層的通信ネットワークの研究開発」を実現するために必要な総合基盤技術を開発するなど災害に強い情報通信技術の研究開発に多大な貢献をされました。
おおしま しげとし 大嶋 重利 山形大学大学院理工学研究科教授	多年にわたり情報通信技術の利活用により地域貢献や地域社会の活性化を図るために地域の大学や中小・中堅企業等が提案する研究開発の推進に尽力し地域ポテンシャルの向上に多大な貢献をされました。
かとう ねい 加藤 寧 東北大学教授	緊急重要通信や安否確認などに活用が期待される情報通信ネットワークの耐災害性強化を実現するために必要な「モバイル端末で構成される自律ネットワーク技術」を開発するなど災害に強い情報通信技術の研究開発に多大な貢献をされました。
なかじま こうじ 中島 康治 東北大学電気通信研究所教授	多年にわたり情報通信技術の利活用により地域貢献や地域社会の活性化を図るために地域の大学や中小・中堅企業等が提案する研究開発の推進に尽力し地域ポテンシャルの向上に多大な貢献をされました。
青森県立八戸工業高等学校 (校長 赤坂 裕一郎)	学校教育を通じ情報通信ネットワークの工事担任者の資格取得の促進に取り組み多くの技術者を輩出するなど情報通信の高度化の進展に対応した安心・安全な東北地域の情報通信社会の構築に多大な貢献をされました。
くずまきまち 葛巻町 (町長 鈴木 重男)	ケーブルテレビやエリア放送など全国有数の地域情報通信基盤を一体的に整備しその情報通信基盤を有効に活用した新たな行政サービスの実現に向けて継続的な取り組みを進めるなど地域情報化の推進に多大な貢献をされました。

<p>仙台市消費生活センター (所長 <small>よしだ ゆきえ</small> 吉田 幸江)</p>	<p>青少年の情報リテラシー向上のための講座を電気通信サービスに関する消費者への啓発と位置づけて取り組むなど東北地域における安心・安全な情報通信社会の構築に多大な貢献をされました。</p>
<p>「ふくしまっ子 10万人の笑顔プロジェクト」実行委員会 (実行委員会: 福島テレビ・福島中央テレビ・福島放送・テレビユー福島・福島県)</p>	<p>福島県内の小学生10万人が参加した「笑顔のアート皿」の作成過程を放送コンテンツとして取りまとめ東日本大震災からの復興に向けた地域の情報として国内外に発信するなど情報通信を用いた地域のきずな構築に多大な貢献をされました。</p>

### 平成26年度「情報通信の安心安全な利用のための標語」東北総合通信局長表彰

被表彰者	主な功績
<p>仙台市立三条中学校 (校長 <small>こまつ なおや</small> 小松 尚哉)</p>	<p>携帯電話やスマートフォンの安心・安全な啓発活動として、外部講師を招いた情報モラル講座の開催や標語作りに学校を挙げて取り組むなど情報通信の安心・安全な利用に関わる顕著な活動をされるとともに標語作りにおいて優秀な作品を創作されました。</p>